

「見付トンネル」現場見学会報告書



地域活動部会四国支部 福家 佳則

地域活動部会四国支部では、この度、工事関係者のご理解を賜り「見付トンネル工事」（株）奥村組施工の現場見学会を開催させていただきました。

当工事は、一般国道 56 号窪川佐賀道路のうち、L=418m のトンネル工事です。

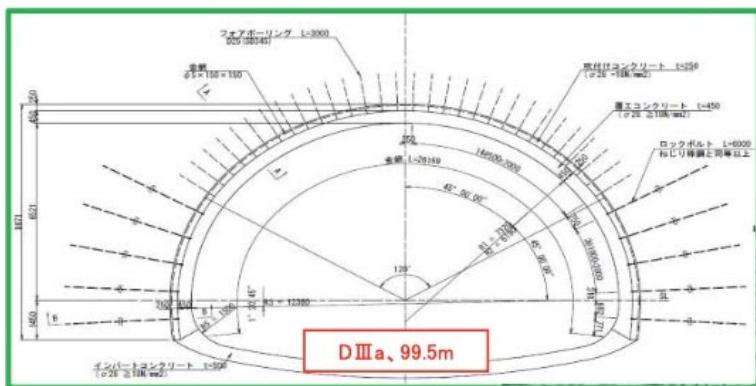
トンネルの地質は、四万十帯の砂岩と泥岩からなります。

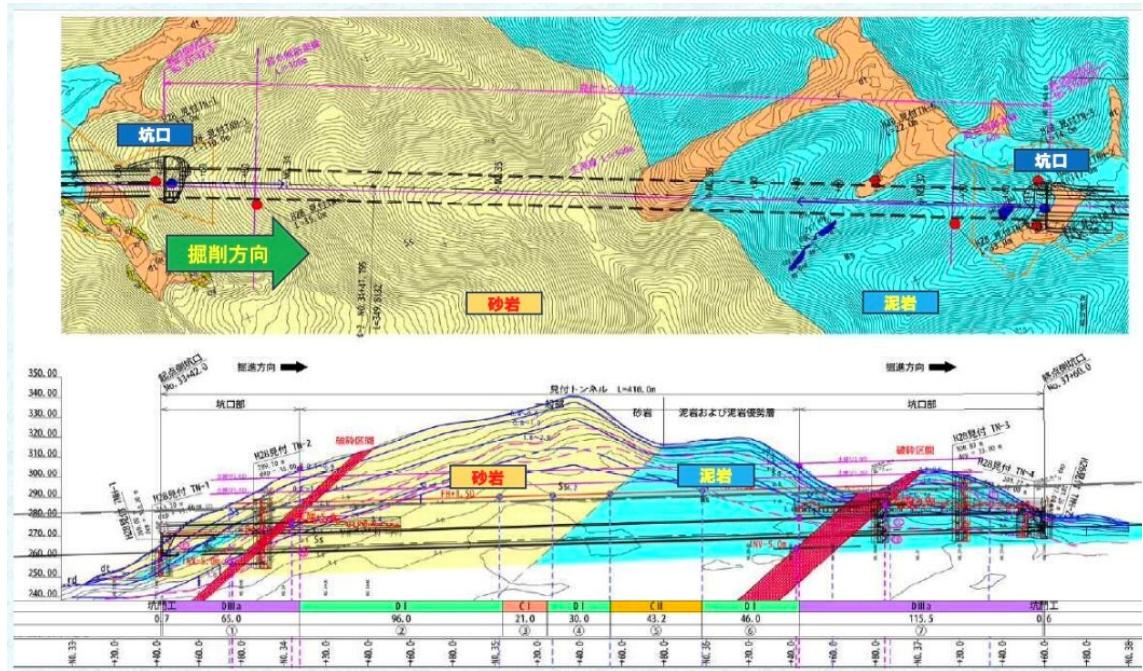
当工事では、破碎帯などの地質不良部に対して適切な対応を取られ、また、先端的な調査・施工技術を採用されつつ、順調に掘削が進められておりました。

おかげさまで、参加各位に大変満足していただける見学会となりました。

＜＜見学会次第＞＞

1. 工事名 : 令和5-7年度 窪川佐賀道路見付トンネル工事
 2. 施工者 : 株式会社奥村組
 3. 発注者 : 国土交通省 四国地方整備局
 4. 工事場所 : 高知県高岡郡四万十町
 5. トンネル概要 :
 - 延長 418m 工事延長 700m 発破掘削 NATM (内空断面 91.7 m^2)
 - (地質) 砂岩、泥岩
 - (主な特徴) 大断面、破碎帯、DⅢ区間における安全・確実な施工
 6. 開催日程
11月29日(金) 13:30~16:00 工事説明、現場見学、意見交換
終了後に高知市街にて懇親会





＜＜見学会の様子＞＞

見学会には27名の方々に参加していただきました。

事務所にて工事概要、また工事課題や施工実績について説明をうけました。

その後、バスにて現場に向かいました。

50mほど掘削が進んでおり、ちょうど発破・すりだし直後の状況でした。

トンネル全長にわたって地質不良が予想され、当該切羽も AGF を施工しながら掘削を進めておられました。

困難な地質条件下での施工にもかかわらず、切羽照度の確保、肌落ち災害対策、良好な路盤維持などの安全面への配慮も十分になされておりました。

トンネル施工の協力会社は当研究所・賛助会員の轟組さんでもあり、現場が一体となって工事を進めておられる様子が伺われました。

その後、事務所に戻って40分にわたって質疑・応答の時間を設けていただきました。今回の参加者は、ゼネコン、コンサル、機械・材料メーカーと幅広い分野の方々でした。

で、様々な分野にわたって充実した議論ができました。

不良地山の対応に関する質問が多かったです。

無事に県学会を終えたのちに、高知市街にて有志の

再び熱い技術論議がきて、本当に楽しげ

ところで、来年の1月11日には、高松にて南部主義の技術講演会を予定しています。

有志青年講演会になろうかと用います

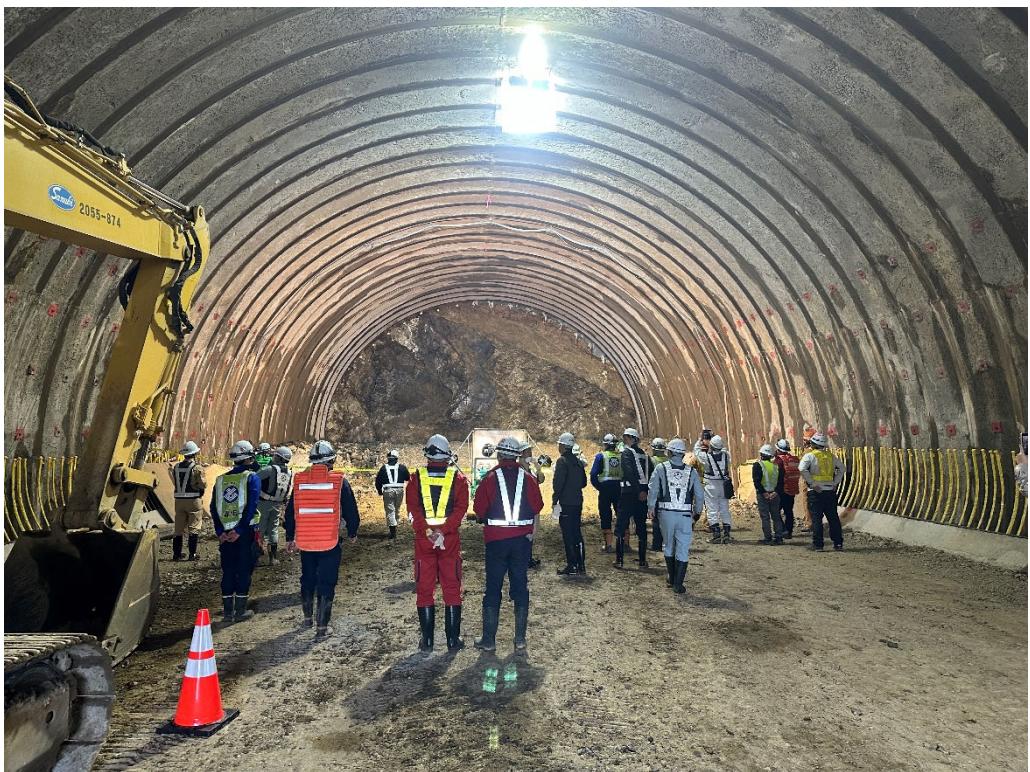
今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも、ご支援のほどお願い申します。

事務所会議室にて説明



切羽状況の観察



坑口前での集合写真

